

令和2年度第9回沼田市教育委員会会議録

1 期日

令和2年12月23日（水）

2 場所

テラス沼田庁議室

3 出席者

横坂隆司教育長、平形昇委員、中村俊生委員、高橋昭紀委員、中村春夫委員

4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者

諸田勝教育部長、北澤昇教育総務課長、角田義行学校教育課長、星野盾生涯学習課長、宮下昌文文化財保護課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀教育総務課長補佐

5 開会宣言（午後1時30分）

6 日程第1 会議録の承認

原案のとおり承認

7 日程第2 会期の決定

会期は、12月23日の一日と決定

8 日程第3 会議録署名委員の指名

教育長が平形昇委員を指名

9 日程第4 教育長報告

（教育長）

今年も残すところ1週間となった。コロナ禍の令和2年ではあったが、教育委員の皆さまには大変お世話になった。

12月議会における7人の議員からの一般質問24項目について、5つの類型にまとめて報告したい。

- ・学校における新型コロナウイルス感染症について（7項目）
- ・安全教育について（7項目）
- ・GIGAスクール構想について（1項目）
- ・中央公民館廃止除却と代替機能について（7項目）
- ・成人式の新型コロナウイルス感染防止対策について（2項目）

1 2月校長会における指示伝達事項を報告したい。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に備える。
- ・人事に関する情報を迅速に連絡する。
- ・特配を有効に活用する。
- ・教育公務員として高い倫理観をもつ。
- ・学期末の事務処理を適切に行う。

(教育部長)

なし

(教育総務課長)

なし

(学校教育課長)

- ・ふるさとぬまた未来創造奨学金奨学生の内定について

(中村俊生委員)

ふるさとぬまた未来創造奨学金は、差し上げるものなのか。また、金額はどのくらいか。

(学校教育課長)

給付型奨学金なので、返還要件に該当しない限り返済を求めるものではない。金額は月額10万円である。

(生涯学習課長)

- ・公民館の今後の在り方に関する説明について

(中村俊生委員)

資料の中に中央公民館は無いが、コミュニティーセンター化とは別の取扱いということで良いか。

(生涯学習課長)

中央公民館については令和3年度中に除却予定であり、コミュニティーセンター化する公民館に含んでいない。

(平形昇委員)

コミュニティーセンターとなった場合、館長ほか人員配置はどうなるのか。

(生涯学習課長)

現段階では、現状と同様になると想定している。

(平形昇委員)

コミュニティーセンターになると同時にということではないが、人件費等の経費を上げずに、土日を含め、より広く開館できるような方策を検討してほしい。

(生涯学習課長)

要望として受け賜りたい。

(中村俊生委員)

社会教育施設では何が駄目で、コミュニティーセンター化すると、何が使えるようになるのか。

(生涯学習課長)

公民館は社会教育法の適用を受けるため、営利を目的とした活動ができない。コミュニティーセンターになると、例えば、地域で採れた野菜などの有償提供、いわゆる物品販売が可能となる。

(中村俊生委員)

コミュニティーセンター化した場合でも、利用者が増えず建物が老朽化したら取壊すのか。

(生涯学習課長)

地区公民館については、取壊すことなく維持する方針である。

(中村俊生委員)

現在の公民館は地区のお手伝いをしているイメージが強い。コミュニティーセンター化しても変わらないのではないか。

(生涯学習課長)

旧沼田市内の4地区公民館については、区長会等の地域に根ざした活動の拠点として使われている。コミュニティーセンター化によって、現状に即した形にするとともに、住民にとってより有効に活用できる施設としたい。

(教育部長)

コミュニティーセンターについては、所管が市長部局の総務部となっている。説明会の主催も総務部企画調整課で行っている。いただいた意見については総務部につなぎたい。

(平形昇委員)

総合教育会議においても意見を述べたが、コミュニティーセンター化には賛成である。コミュニティーセンターに移行後、どう運用するかが今後の課題であると思う。

(高橋昭紀委員)

コミュニティーセンターに移行後、今までどおり住民票の発行などを継続すること、子供たちの学習の場の提供をすることを希望する。

(生涯学習課長)

いずれも可能であると考えている。

(文化財保護課長)

なし

(スポーツ振興課長)

なし

10 閉会宣言 (午後2時00分)